

早通地域
検討会準備会
報告 第1号

一緒に考えませんか？これからの子どもの居場所づくりについて／

早通地域検討会準備会

現在、早通地域の子どもの居場所づくり(早通児童センターの機能移転)について、地域検討会準備会を立ち上げ、利用者や地域、施設管理者などから多様なご意見をいただきながら進めています。

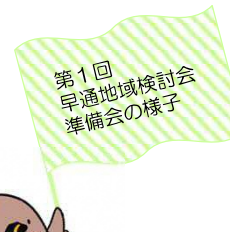
今後の検討の進め方についての課題整理を行うため、第1回地域検討会準備会を開催し、児童館の老朽化や本市の公共施設の現状、施設の配置方針といった市の考えやこれまでの経過について説明を行いました。

グループワークでは、説明内容についての意見や早通児童センターの役割について、参加者のみなさんで意見交換を行っていたり、意見の共有を行いました。

第2回ではいただいた意見を踏まえ、進め方について話し合いを行います。



早通児童センター

第1回
早通地域検討会
準備会の様子

子どもがさまざまな体験や交流ができる場所、多くの学びを得られる場所であること

- 子どもの「学び・体験」の場
- 卓球や一輪車が上手くなると思う
- 多様な活動・経験ができる
- 多様な経験により自己肯定感も高まると思う
- メディアから離れる場所になっている
- 最新のもの(メディア等)とは異なる遊びを知る場
- 子どものコミュニティー能力の向上、居場所的な遊び場の提供
- 子どもが多くの方から認められる場だと思う
- 家族以外の人と交流することで子どもも大人も良い刺激になっていると思う
- 自分にとって大切な発見の場所、大人にとってもいろんな話を聞ける所
- 子ども自身も多くの人と接することで他の人を受入れる力を育てる場
- 顔を知っている大人からの反応は子どもの成長につながる
- 新しいことにチャレンジできる、運動会、お祭り、子ども食堂など
- 自分が大事にされていると実感できる場所だと思う

子どもが自由に過ごせる場所であること

- 子どもがスキマ時間に有効的に利用している
- 子ども達が何の心配もなく生きていける、そのためのひとつの場所だと思う
- 一人でも、大勢でも、好きなこと、やりたいことができる
- 子どもが自分の気持ちをしらべたり、友人と遊んだり好きなことができる場所
- 何もなくても居られる
- 子ども達の遊びの場(学校は学びの場)
- 楽しい、友達と会える場所だと思う
- 子どもの自己実現の場としての機能(スポーツ、趣味、遊び)があると思う

身体を動かせる場所であること

- 児童センターの体育館という広い場所で友達と運動できる
- 運動機能を併設した施設
- 子どもにとっての体を動かす場所、大人にとっても重要だと思う
- 冬場でも身体を動かせる場所は大事
- 体を動かすことができる屋内運動場雨でも雪でも遊べる
- 公園という考えもあるが、1か所での建物としての場所が必要だと思う
- 体育館(図書館)など機能を残してほしい

子育て中の保護者達が相談したり、交流したりできる場所であること

- ちいさな子を育てている親子もここにすれば交流ができたり、話をきいてもらえたりする場となっている
- 子育て世代の大人の交流拠点にもなっていると思う
- 共働き世帯にとっては、子どもをみてもらえるというだけでなく家庭も見てもらえることに繋がっている
- 児童の枠から出た家庭支援が行われていると思う
- 親子遊びを通して子育て支援を行う機能が大切だと感じる
- 若い人たちが将来的にも相談できる場
- 親が安心して話せる場所
- 大人の居場所作り

早通児童センターの複合化について

- 早通児童センターについては、施設の複合化は考えられないか？
- コミセンに児童センターの機能を入れたらどうか？
- 将来的に児童センター・コミセン・いすぎ荘の3つの施設の複合化について考えると良いと思う
- ひまわりクラブと児童センターの統合はどうだろうか

専門の職員・見守ってくれる大人がいること

- 「場所」と「人」を常設セットした方がよいと思う
- 専門職員が常駐することが大切だと思う
- 子どもに対して的確な対応をしてくださる人がいる
- 親がその場になくても悪いことは悪いと伝えてくれる場(しかってくれる)
- 信頼できる大人がいる
- 職員と子のふれあいがあることが必要
- 自治体で相談員を派遣することも必要
- 友達とトラブルになった時、間に入ってくださる大人がいる
- ゆるやかに大人の目がある場所だと思う
- ボランティアだけでなく専門的知識のある職員を配置する必要があると思う
- 利用者(子ども)にも使用上のルールを守らせることが大事だと思う
- 施設管理者は利用者間でイジメや危険な遊び防止への注意の徹底
- 送迎の子が多い 先生達が様子を見られる(けんかの記録)

ひまわりクラブ(放課後児童クラブ)との違いや課題について

- ひまわりクラブは時間までそこにいないといけないが、児童センターは一人で自由にできる
- ひまわりクラブになじみず児童センターにくる子もいる
- 児童センターですごくの方が、子どもが笑顔で楽しそうだから、ひまわりクラブでは代替できないと思う
- ひまわりクラブは通っている人数がすごく多すぎて預けづらい、子どもも行きたくない、となっていて、児童センターがその受け皿にもなっていると感じる
- ひまわりクラブとの差別化はどうなるのか？
- 子ども居場所(ひまわりクラブはせますぎる冬場をどうするか？)一時的に預けられるか(月会費と一日の費用をどうするか)感染の増大も心配

予算の現状に関する意見・質問

- 現状の財源の詳細を知りたい
- 児童センターを維持するには具体的にいくらくらいかかるか？
- 市の予算を本当に必要なことに使ってほしい
- 市が予算を使いたい場と、地域住民が予算をつけてほしいところが違うと感じる本当に必要などつけてほしいと思う
- 財源不足は市の遊休地等を処分して確保すればよいと思う

その他の意見

- 利用する住民の意見や気持ちを聞いてほしい
- 児童センター廃止により若い世代が減ってしまうことが心配
- 国の方針に合わせた方がいいと思う
- 場を開いていただいて、中立の立場の人を呼んでもらって開催してもらったことがありがたいと思う
- 何のための児童センターなのかという共有が必要だと思う
- 教員(学校)の現状と今後の流れに対応していくこと
- 9時から遊べる
- 顔を合わせる事が大切だと思う

こちらの2次元コードからはふりかえりシートに記載してもらった内容の確認もできます！



ワークショップの概要

第1回 令和5年11月22日(水) 午前10時～正午 会場 早通地域コミュニティセンター

参加者数 34名 資料 当日の資料は市ホームページ(右の二次元コード)に掲載しています。

第2回開催予定 令和6年2月20日(火) 午前10時～正午



ご意見・お問い合わせはこちらまで

北区健康福祉課児童福祉係

電話 025-387-1335(直通)
FAX 025-387-1020

〒950-3393 新潟市北区東栄町1丁目1番14号
北区健康福祉課 児童福祉係

準備会に参加していない方もぜひ、ご意見をお聞かせください。いただいたご意見は、次回以降の検討資料に反映させます。



※この資料は早通地域の各世帯に全戸配布しています。

第1回地域検討会準備会のワークショップで出された意見

議題1

- 今、率直に思っていることを発表してください
- 市の説明を受けて、感じたことを発表してください

児童館は子どもにとって安心できる居場所であり体験や学びの場になっている

- 児童館は安心してすごせる場所
- 児童館は友達を作る場にもなっている
- 子どもが様々な体験をする場所
- 子どもが自分から遊びに行きたくなる場
- 子どもが居て楽しい場であれば良いと思う
- 仲間とルールを覚える場
- 子どもたちのために安全な場所をなくしてほしくない
- 自分の好きなことができるのが「居場所」
- ひまわりクラブに行かない子どもの大事な居場所になっている
- 「居場所」は安心できること 信頼できる大人がいること
- 学校はいけなく児童センターでは遊べる子どももいて、心の居場所になっている
- 子どもたちの居場所として大切なので残してほしい
- 多世代が集まることにより子どもたちの学びの場になっている

新潟市の児童館施設の配置方針や北区児童館再編計画の策定プロセス等に関するご意見

- 移転の話など聞いたうえで知りたかった
- 報告と実行の順番があってないと感じる
- 話し合いがなくて決まっていた事に不満を感じた
- 政府も子どもと言っているのになぜかそうとするのか
- 子ども条例には「地域の力を借ります」とあるが、児童センター無くても良いのか？
- 作りたい地域もある中で無くすことはおかしいと思う
- 行政は子どもに投資する気持ちを育ててほしいと思う
- 健康福祉課に地域でみてもらう目をもってほしい
- 児童センターについて、聞いた見たりしてほしい
- 具体的な使い方がみえてない中では機能移転に賛成できない
- 機能移転の前に子どもたち(大人含む)の居場所のありかたを考えるべきだと思う
- 「安心安全」・「子育てしやすい環境づくり」といった新潟市が掲げる目標に対して、反対する人は誰もいないが、実際にはこの目標に対してズレが生じていると感じる
- 子育てしやすい環境づくりに逆行していると感じる
- 子育てしやすい環境が整っていないため、少子化になっていると思うまた、地域活動も衰退していつているこれは単なる入れ物の問題ではないと感じる
- 児童センターの廃止ありきだと感じたもって地域住民の声を聴いて、子どもと高齢者を大切にしたいと思う
- 施設を最終的に無くす前提で動いているのではないかと感じた
- 子どもが減ることを前提に話しているのが増やそうとする動きも必要だと思う
- 児童館の廃止に関する新聞記事を見て、突然だったので驚いた
- 温度差があるのではないかとと思う
- 北区の大きな枠でなく早通地区で完結できないだろうか
- 児童センターを立ち上げた方たちの思いも大切にしてほしい
- 児童センターを廃止してはいけないと思う
- 新築にして存続してほしい

子どもの居場所やこれまで児童センターが担ってきた機能は必要

- 居場所はどこから必要だと思う
- 児童センター等の機能が必要
- これまで児童センターがしてきた機能は維持したほうが良いと思う
- 資料に記載の維持してほしい機能を果たすのは児童センターなので、立地もいいこの場所で機能面の課題もクリアして次の具体案を出してほしい

コミセン等他の施設と複合化すると良いのではないか

- コミセンと一緒にして複合化するのが良いのでは整うまで機能を小学校へ移すと良いのではないかと
- 施設の集約など時代に合った使い方をすると良いと思う
- 子どもたちの居場所は大切なので、コミセン等と一緒に子どもたちが活動できるような場所を確保する必要があると思う
- 児童館は安心できる場所であり、世代を超えて利用しているので、ただ「無くなる」ではなく同じ機能を残して複合化するのがよいと思う
- 児童センターがなくなると子育て支援の場が少なくなるので、新しい複合施設をつくるのはどうか
- 児童センターは老朽化が進んでいる、具体的な機能移転を市が示すことが必要であり、施設の複合化が最善だと考える
- コミセンを含めて方向性がみえるといいと思う

機能移転について不安に感じる

- 機能移転は難しいと思う
- 機能だけ残すは難しいと思う
- コミセン、学校等老朽化は同じ進みなので機能移転は難しいのではないかと
- 他の施設に機能移転すると交通手段はどうするのか？マイクロバスを使う？
- 三ツ森児童館までは行くことは難しい
- 検討しなければならぬことは多くある
- 学校から解放されたい子どもが、学校に機能移転されても来るとは思えない
- コミセンはどうするか機能移転の展望がみえない維持するにはどうしたらよいか？
- ひまわりクラブはすし詰め状態だし、集約化ではなく早通地区に居場所を作ってほしい

児童センターは地域交流の場所になって、多世代交流が行われている

- 児童センターは多世代が交流する場になっている
- 児童センター(建物)があることで住民がつながりやすくなっている
- コミュニケーションの場、地域活性的場になっている
- 子どもだけでなく地域にとっても必要だと思う
- 子ども、高齢者をつなぐ環境ができて子どもの居場所だけでなく様々な世代の交流が行われているという価値がある
- 児童センターでの活動が高齢者の刺激にもなっていると思う
- 中・高・大学生が遊びに来る場にもなっている
- 今、児童館で遊んでいる子が将来顔を出すことが今後につながっていくと思う

児童センターがなくなってしまうことが不安

- 児童館を頼りにしている子がかわいそうだと感じる
- 早通児童センターがなくなると、早通の子たちは校区外の児童館に行くしかなくなってしまう
- 楽しみにしている子どもたちの行き先をなくすのは悲しい
- 児童センターがなくなると子育てで不安を感じると思う
- 歩いて行ける身近なところが良い近くにない事故などが心配

児童センターは保護者にとっても必要

- 親が安心していくために大切な施設
- 一人親世帯に必要、来た時に来られる場
- 早通児童センターになつかしさを感ずる、以前、子育てと仕事両立の際に助けられた

児童館や児童福祉に係る予算について

- 予算を児童福祉にどのくらいかけているか知りたい
- どうして子どもにお金をかけられないのか？子どもにかけている予算は全体の何%位なのか知りたい？
- 予算も含め健康福祉課だけの問題ではないと思う
- お金がないという前提から始まっているのに、お金の話がありすぎていないと感じる
- いくらかかるからどうなる、という話ができていないと感じる
- 金銭的な問題でやめるのは一方的だと感じる
- 予算面は工夫すべきだと思う
- 福祉にお金を使ってほしい
- 予算が無いではなく子を育てる場が必要だと思う

議題2

- 早通児童センターについて、何が守られることが大切だと考えますか？

子どもたちが自由に出入りできる安心・安全な居場所であること

- 知っている人が見守ってくれる場所であること
- 安心・安全で親でも学校の先生でもない、なまめのつながりが持てる場所
- 地域の人が見守ってくれているということが伝わってくる
- 子どもが主体となって安心して行ける場所建物より子どもの心が大事だと思う
- 安心・安全に行ける場所
- 親が安心して子どもを送り出せる場所
- 子ども達が安心して楽しく過ごせる場
- 公園と違って、天気や気温などを気にせず安心・安全な場所
- 児童館を通じて地域の人と顔見知りになることで、防犯にもなっていると思う
- 子どもメンタル的に明るくられる場
- 一人て来る子の方が多いので、一人て来た子も安心して遊べる場所
- 子ども達や大人達が安心してすごせる場所にしてほしい
- 住民が安心して暮らせる事が大切だと思う
- 学校からバスがでるなどではなく、自由に好きな時に行ける
- 行きたいときにできる(子ども主体)
- 「いきたい」という子どもの気持ちと児童館までの距離が大事
- 共働きで送り迎えなどが難しい保護者がほとんどなので、子どもが自分の足で行ける場所にあることが大事だと思う
- 自分たちで行き帰りができる場所にあることが大事
- 手続きが簡単に気楽に行けること
- どの子も(乳幼児も、学校に行ける子、行けない子、ひまわりクラブに通っている子、通っていない子)平等に無料で利用できること
- 利用者の経済的な負担が無い体制
- 防犯面が安全であること
- 自由に縛られずにいられること
- 子どもたちが安心してすごせる場所児童センターがあることでいつでもいけて、いつでも話せるようになっている
- 共働き家庭が多い中、児童センターは大人の目があるので、子どもを安心・安全に過ごさせることができる
- 子どもが安心して居る場所を守ること、環境と心が大事
- いつでも行ける、行こうと思える場があるということが大事
- 安心・安全(導線含む)子どもたちの笑顔
- 親も子ども安心できること(一人でも行ける年齢関係なく遊べる職員の方がいるから安心)

他の学区の子どもや異年齢児との交流など学校ではできない交流の場であること

- 学校だと学年別だが、児童センターでは年齢関係なく関わるので子どもの成長の場になっていると思う
- 異学年、異世代の人と交流する場
- 幼・小・中・高・大人との異学年・異年齢交流としての機能
- 異年齢の子ども達から学ぶ事も大事だと思う
- 同じ学校で過ごしていても学校では一緒に遊ばないが、児童センターに通って一緒に遊ぶこともある

その他のご意見

- 大事なのは“人”
- 児童館がない他の地域の人から、児童館がほしいと言われたことがある
- 何かしらの今後を考えないといけない
- 合併が悪かったのだと思う早通を発展させたい、早通地区を残したい
- 早通は住民みんなですべて育ててきた地域
- 県にも働きかけ、県営住宅の整備も住環境として必要

これまでもこれからも、子どもだけでなく、多世代交流できる地域拠点であること

- 世代間交流の場として大切学校とは違う場で自分を発揮できる
- 大人と子どもの繋がりか保てる場所
- 地域の人との交流の場となっているため「子どもの居場所」としてだけではなく、地域の人が集える場であり、世代を超えた場となっているからこそ、自然と見守ってもらえたり、助け合ったりしているからだと思う
- 幼児から高齢者まで多世代の交流ができる場所
- 0~18才までの子、保護者、地域の方が一緒にすごせること
- 地域のお年寄りや子ども達の交流
- 家でゲームをしているよりも大人と関われる場
- 親でも先生でもない「ナメのつながり」を大切にほしい
- 年配者が子どもと遊び、交流できる楽しさがある
- 地域が繋がっていくことができる人と人を結び場所であること
- 大人も成長できる地域交流ができること子どもと関わる事で大人もより成長できる
- 地域内で中心的役割を担う場所であること
- 子どもたちを地域で見守り、子どもと地域をつなぐこと財源・人材で工夫すればよいと思う
- 高齢者も歩いて集うことができる場(フレイル予防になると思う)
- 用事がなくて集う場所(小学校に用事がない中高生、大人が来たら不審がられるので)
- 何年たっても交流があったことは忘れないので、地域のつながり築く場所
- 大人の居場所としての役割があると思う
- 場所がないと多世代交流等が図られないと思う
- 早通地域で、いつでも、誰でも行ける場所であってほしい
- 多世代間の交流、学校では学べないことがたくさんあると思う
- 思い出が多い方が、地域愛が育つと思う
- 学校含め、地域で子どもを育てるという方向性であること
- 誰でも容易に出入りできる

学校でも家庭でもない第三の居場所であること

- 親にも先生にも言えないことでも児童センターでは言えると思う
- 児童センターの大人にしか言えないこともある
- 家庭、学校とは別の居場所になっていると思う
- もう一つの拠点になっている
- 学校と家庭の中間の場として子どもの精神的安定感が得られる
- 学校にいけない子どもが、学校ではない場として行ける所となっている、そういう子どもの社会交流、子ども同士のコミュニケーションの場になっていると感じる
- 引きこもり・いじめ・不登校などで、児童センターに助けられた子もいる
- 児童センターがあつて良かった助けられた居場所だった
- 子どもの逃げ場所であつてほしい
- 一時保護所もいっぱいだからこそ場所必要だと思う
- 子どもは過ごす場が違うと、それぞれの一面をみせることができるので学校としても情報源になっていると思う
- 来てない子のことも見られるし、見ている